

無能なものを助け出すよ
うだが…。要理の時間
で一番恐いのが、聖霊の時
間である。どのように説
明したらよいのかよく分
からない。聖霊とは「聖
なる霊のこと」と言っ
ても説明にならない▼あ
るとき、苦肉の策として
「聖霊の続唱」が吹き込
まれたカセットテープを
聴いてもらった。「聖霊
来てください。あなたの
光のかがやきで、わたし
たちを照らしてください。
…。」。まさに聖霊の
助けを祈るような気持
ち。聖霊降臨の主日に歌
われるこの続唱には、聖
霊の働きが美しく描写さ
れている。黙って聴く。
「分かりますか？」と聞い
てみると、「よく分かり
ます」という答えが返っ
てきた▼あの時の、あの
ことが、あの時の、あの
気付きが、あの時の、あ
の出会いが…。聖霊の働
きだったんですね。それ
を聞いて「そっか、なんです
の一言で聖霊についての
説明を済ませてしまった
(まだ説明になっていな
い!)。聖霊は説明する
ものではなくて、体験し
伝えるものではないか▼
いろいろな方の人生に耳
を傾けると、その方に
聖霊が働きかけておられ
るのが見えてくる。信者
であるなしかかわら
ず。このことには確信が
ある。洗礼を受けたから
聖霊が働いてくたさるの
か。それに心ざわしいか
ら、聖霊の助けをいただ
けるのか。はい、はい、
と言いたい。神の恵みは、
すべてに優先して働く。
聖霊を通して働く▼三年
にわたる大聖年準備の二
年目である今年、聖霊
の年。先に動へのはいつ
も聖霊である。すべては
そこから始まる。そして
聖霊はすべてのことに、
すべての人に働く。(Y)

「あ、これで救われた
!」という体験をだれし
も一つや二つは持っている
ものだ。他の人から見
ればたわいのないことだ
ったりするのだが、当人
にとってはかけがえのな
いことである▼「祖先と
死者についてのカトリッ
ク信者の手引」という小
冊子がある。一九八五年
に日本カトリック司教協
議会宗宗教委員会が編さ
んして中央協議会から発
行されたもの。これを初
めて読んだときは、本当
に救われた思いがした。
約十年前のことである。
以来、求道者の勉強会の
プログラムで必ず使うよ
うにしている▼この小冊
子は、第二バチカン公会
議で発表された「キリス
ト教以外の諸宗教に対す
る教会の態度についての
宣言」と、『教会憲章』
に示されているキリスト
者としてでない死者に対
する態度について、また、
祖先との交わりについて
の問題を分かりやすく、
実践的に説明している▼
『教会憲章』に記されて
いる以下の言葉をどうし
てもここで紹介したい。
「本人のがわに落度がない
ままに、キリストの福
音ならびにその教会を知
らないが、誠実な心をも
つて神を探し求め、また
良心の命令を通して認め
られる神の意志を、恩恵
の働きのもとに、行動に
よって実践しようと努め
ている人々は、永遠の救
いに達することができ
る」(16番)。この考え
が、先の小冊子の根底に
ある。これを知ること
によって救われる人が多い
と確信する▼死者の月。
この機会に、死者と救い、
キリスト者でない人々の
救いについての教会の考
えを今一度確認したい。
この教えに触れて受洗を
決意する人は多い。(Y)

マザー・テレサが逝っ
た。彼女はよく「ビュ
ティフル」という言葉を
使ったが、まさに彼女自
身が、現代社会への、そ
して教会への神からの
「ビュティフル」なプ
レゼントのように思え
る。宗教、宗派を超えて
ひたすら愛に生きたその
生涯は、殺伐とした現代
社会に生きる私たちに、
最も大切な生き方を教え
てくれた▼すべての人は
心の底から幸せを求めて
いる。その心の底の底に、
「愛したい、愛されたい」
という強い望みがある。
その望みが実現すると
き、人は「幸せ」を感じ
るのではなからうか。愛
への飢えと渇き。それは
表面的、物質的な貧しさ
にかかわらず、「豊かな
国」といわれている日本
にもあり、マザー・テレ
サはそれを指摘している
▼福音宣教は教会の第一
の使命である。どのよう
に福音を伝えたらよいの
か、が各地でさまざま
グループによって検討さ
れているが、教会内部に
も福音を伝え直すことを
考えたい。どれだけの信
者が信者であることに喜
びを見いだし、神から、
そして人から愛されてい
ることを教会共同体の中
で感じているだろうか。
教会から離れていく信者
がいる現実を謙虚に受け
止めたい。教会内部での
人間関係から来る苦し
み、悩み。葛藤(かっとう)
う)しながらも、あきら
めつつ、他の仲間や共同
体を求めて教会から離れ
る人たちがいることに、
どれだけの司祭、信徒が
心を痛めているのだろう
か▼マザー・テレサの愛
の活動の源となっていた
キリスト。彼を求めて教
会の門をたたく人が増え
るかもしれない。教会が
つますきにならないれば
よいが……。(Y)

ある人がパチンコには
まって、抜けきれないで
いる。夫をはじめ、子ど
もたちの世話もできず、
ひたすらパチンコばかり。
借金もかさみ、夫は
その支払いに奔走する。
仕事は仕事で続けなけれ
ば金はできない。友人、
知人からも見放され、人
間関係が破壊されてい
く。この人のパチンコへ
の依存は病的というだけ
でなく、「依存症」とい
う病名である▼最近この
ような「依存症」が増え
ている。アルコール、薬
物、ニコチン、摂食、ギ
ャンブル、ショッピング、
仕事、セックス、感情
暴力、虐待などに依存す
るアディクション(嗜
へし)癖と呼ばれる進
行性の病名である。この
病名は人間関係の破壊を
もたらす▼妻がギャンブル
依存で困っている、と
いう相談を受けた。精神
科に行ったり、県、市な
どのあらゆる公共相談シ
ステムにも相談したが、
通り一遍の答えで満足な
回答は得られない。知人、
友人、親せきなどからも
「別れる」しかないとい
う「答え」だけが返って
くる。夫は何とかがして離
婚だけは避けようとして
いるのに、その気持ち
だれも分かってくれない
▼依存症者自身に回復の
手だてが必要なことはも
ちろんだが、周りの、特
に家族の人の救いの手だ
ても必要だ。簡単な処方
せんはない。一発で解決
する回答もない。だから
あきらめ、突き放し、他
に「回す」結果になる。
これでは本人も家族も救
われない。教会(メンバ
ー一人ひとり)もこのよ
うな対処の仕方をしてい
るのではなからうか。二
時間近い電話の後、「ま
た、がんばってみます」
という言葉が救いであっ
た。(Y)

駅の売店に栄養ドリンク
が並んでいる。さま
ざまな種類があるのだ
が、値段を記したカード
にそれぞれコメントが付
いている。「疲れている
な? と思っている方に
効きます!」「過労意味
の方に効きます!」「だ
るくて仕方のない方に効
きます!」「死にそ
うな方に効きます!」「
!」。その段階に従って
値段も高くなっていく。
「死にそうな方に…」に
至ってはお札が何枚か
いる。値が張れば張るほど
効果があるように思えて
くるから不思議だ▼【効
能・効果】には、肉体的
労時の栄養補給。【使用
上の注意】には、「しば
らく服用しても症状の改
善がみられない場合には、
医師または薬剤師に
相談してください」とあ
る。栄養が補給されてい
ることは確かであろう。
しかし、疲れが取れると
は限らない。医師に相談
すると、「休養を十分取
ってください」という答
えが返ってくる▼現代人
の多くは、心底、疲れ切
っている。ただの身体の
疲れだけではない。さま
ざまなストレス、緊張の
中で心は疲れ果てている
▼教会に来ると心が安ら
ぎます、と一人の若いお
父さんが言った。「仕事
の合間にとときどき一人
で聖堂に入ります。何とも
言えない平和がありま
す。日曜日は人が多いの
で落ち着きません。こん
なに良い場所があるのに
知られていないのは残念
です」。洗礼は受けてい
ないが、彼は「私のもと
に来なさい。休ませてあ
げよう」というイエスの
言葉を聴いているよう
だ。そついでイエスは
言われた。飲みなさい」と。
イエスは最も効果の
ある心の栄養ドリンク
剤。(Y)